

2011年3月期(2010年度)第3四半期決算説明会における質疑応答

質疑応答

- : 質問

: NECの回答

* 前回予想とは、10月28日(第2四半期決算発表)時点の予想です

第3四半期の実績について

- 売上高、営業利益の実績は、社内の計画値と比較してどうでしたか。セグメント別についても教えてください。
 - 具体的な社内計画値は公表していませんが、売上高、営業損益ともに届きませんでした。
 - 売上高については、数百億円程度減少しており、セグメント別では、半分がキャリアネットワーク事業、残りがITサービス事業とパーソナルソリューション事業です。
 - 営業損益については、ゼロを想定していたので130億円程度の減少となりました。セグメント別では、ITサービス事業の減少が大きく、キャリアネットワーク事業やパーソナルソリューション事業でも下回りました。ITサービスでは、売上高の減少に加えて、不採算案件による影響も一部ありました。
- 携帯電話機の損益はどうでしたか。
 - スマートフォン対応の開発に力を入れており、その費用が増加したため、損益は厳しい状況でした。スマートフォン以外では、新端末のLifeTouchの開発も加速しています。

通期業績予想について

- ITサービス事業について、通期業績予想の達成確度はどうですか。
 - 第3四半期の受注実績は前年同期比で減少となりました。第4四半期では、現在進行中の案件を確実に売上に結びつけるとともに、売上を計上できる案件の受注活動を積極的に行います。また、費用についても今年度の売上に関連しない分を抑制するなどして対応していきたいと考えています。

- パソリンクの状況を教えてください。
 - 第3四半期までの厳しい状況を鑑み、通期の売上高予想値を若干見直しましたが、足元では新製品の受注が活発になってきています。
- 海洋システムの状況を教えてください。
 - 第4四半期に大型案件の売上計上を見込んでおり、通期の売上高予想値は、前回予想から変更はありません。
- 携帯電話機の通期の出荷台数計画を、600万台から500万台に修正しましたが、その内容と要因は何ですか。
 - 下方修正した100万台のうち7～8割が海外向けです。スマートフォンへの対応が遅れていることが、大きな要因です。

来年度以降の計画について

- 来年度の国内ITサービス市場の見通しを教えてください。
 - 今年度は厳しい状況が続いています。来年度もこの厳しさは継続すると見えますが、IT投資が抑制されてから相当の時間が経っており、企業や官公庁は経営効率の改善に向けたIT投資が必要になってくると考えています。現在では政局や為替に対する不安もあると思いますが、半年後にはIT投資が戻ってくると考えています。
- 電気自動車向けリチウムイオン二次電池の電極について、量産開始から順調に立ち上がっていると聞いています。2012年度目標の実現性をどのように考えていますか。
 - 2012年度に電池事業で1,000億円の売上高を目標としていますが、自動車向け以外にもあらゆる分野で活用できる可能性があり、この目標は達成したいと考えています。

以 上